

報道関係者各位

「大国の行動が拡大する世界で多国間主義をいかに再構築すべきか」
12 カ国 13 のシンクタンクのトップが参加する他、
トランプ政権下で大統領特使や NSC 事務局長を務めたキース・ケロッグ氏等 30 氏が参加
「東京会議 2026」ご取材のご案内

非営利シンクタンク言論NPO（東京都中央区、代表：工藤泰志）は、3月10日から12日の3日間にわたって、「東京会議2026」を開催いたします。

今年の「東京会議」は、大国の行動と取引が主導する世界が現実となる中で、①大国の行動と取引が今後の世界の支配的な秩序となるのか、②多国間主義の再生は可能なのか。その中でミドルパワー国が果たし得る役割はあるのか。そうした点について真正面から議論を行う、世界で初めての会議となります。

そのメインの議論となる、3月11日（水）午後に行われる公開フォーラムでは「大国の行動が拡大する世界で多国間主義をいかに再構築すべきか」を全体テーマに、3つのセッションで議論を行います。

基調報告者としてトランプ政権下で、ウクライナ担当大統領特使や国家安全保障会議（NSC）事務局長を務めていたキース・ケロッグ氏の登壇が決定した他、ドイツのクリスティン・ヴルフ元大統領、イタリア元首相で欧州委員（経済担当）を務めたパオロ・ジェンティローニ氏等が登壇します。加えて、米国、欧州、アジア、南米など12カ国・13の世界を代表する主要シンクタンクのトップ等、併せて30氏が参加します。

そして、公開フォーラムの最後には、議論の成果をまとめて議長声明として世界に発信していきます。

報道関係者の皆様にはお席をご用意させていただきますので、是非ともご取材いただきますよう、よろしくお願い申し上げます。

なお、10日夜のワーキングディナー、11日夜の歓迎夕食会で政府関係者の発言などがある場合は、冒頭発言のみご取材を受け付ける予定です。その場合は、改めてご案内させていただきます。

3 月 11 日（水）13 時開催「東京会議 2026」公開フォーラム概要

日付：2026 年 3 月 10 日（火）～12 日（木）

会場：東京プリンスホテル（東京都港区芝公園 3-3-1）

スケジュール：

13:00～18:30 公開フォーラム

「大国の行動が拡大する世界で多国間主義をいかに再構築すべきか」

13:00～13:20 主催者挨拶、開会挨拶

13:20～14:30 基調講演

14:30～15:30 パネルディスカッション「大国は、どのような世界をつくろうとしているのか」

15:30～16:50 セッション①：「多国間主義はどこから立て直せるのか」

17:00～18:20 セッション②：「このまま進めば、世界はどこに向かうのか」

18:20～18:30 世界への提言（議長声明）

閉会挨拶

※ 東京会議の3日間の詳細については、別資料をご覧ください



認定特定非営利活動法人 言論 NPO（担当：宮浦）

〒103-0012 東京都中央区日本橋堀留町 2-8-4 日本橋コアビル 6 階

TEL 03-3527-3972 FAX 03-6810-8729 Email: info@genron-npo.net

「東京会議」 3 日間の全プログラム

3月10日（火）

3月11日（水）

3月12日（木）

<p>10:00-12:00 非公開セッション① 大国の行動と取引が今後の世界の支配的な秩序となるのか</p>	<p>8:00-9:00 朝食会</p> <p>9:15-11:30 非公開セッション③ AIの未来とグローバルガバナンス</p>	<p>9:00-10:30 非公開セッション④ 同盟の再定義は可能なかー力の時代に、各国は米国とどのような関係を築くのか</p>
<p>13:00-15:00 非公開セッション② 米国主導の世界経済は、どこまで持続可能か〜ドル体制、米国の関税と財政、中国との競争が招く連鎖リスク〜</p>	<p>13:00-18:30 公開フォーラム ご取材可能です</p> <p>13:00-13:20 主催者挨拶、開会挨拶</p> <p>13:20-14:30 基調講演</p> <p>14:30-15:30 パネルディスカッション 大国は、どのような世界をつくろうとしているのか ー力と取引が前に出る時代の国際秩序ー</p> <p>15:30-16:50 セッション① 多国間主義はどこから立て直せるのか</p> <p>17:00-18:20 セッション② このまま進めば、世界はどこに向かうのか ー分断と大国間の取引、我々の選択ー</p> <p>18:20-18:30 世界への提言、閉会挨拶</p>	<p>10:45-12:15 非公開セッション⑤ 多国間主義は再生できるのかー力の時代に問われる多国間主義の再構築とミドルパワーの課題</p>
<p>ご取材可能です</p> <p>15:20-18:00 アジア円卓会議 〜力の時代におけるアジアの選択〜 ルールと多国間主義をどう守り、再構築するか</p>		<p>※11 日（水）歓迎夕食会については、冒頭のみ取材を受付ける可能性があります。 その場合は、改めてご案内します</p>
<p>18:30-20:30 ワーキングディナー</p>	<p>19:00-20:30 歓迎夕食会 ※</p>	

◆「東京会議」公開フォーラム基調講演者・挨拶：

キース・ケロッグ（元米国国家安全保障会議（NSC）事務局長、
元ウクライナ担当特使（トランプ第2次政権））
パオロ・ジェンティローニ（イタリア元首相、前欧州委員会経済担当委員）
クリスティアン・ヴルフ（第10代ドイツ連邦大統領）
スシロ・バンバン・ユドヨノ（元インドネシア共和国大統領）
岸田文雄（「東京会議」最高顧問、元内閣総理大臣） 他数名打診中（欧州委員会、東アジア）

◆その他参加者：

ヘン・スイ・キアット（シンガポール共和国元副首相）
アントワネット・モンショーセイエ（元 IMF 副専務理事、元リベリア財務大臣）
スリ・ムルヤニ（元インドネシア財務大臣、元世界銀行専務理事）
ドゥヴリ・スパラオ（元インド準備銀行総裁）
タリサ・ワタナゲス（元タイ中銀総裁、元 IMF エコノミスト）
チリツィ・マルワラ（国連大学学長、国連事務次長）
林 聖男（イム・ソンナム）（元韓国外交部第一次官、元 ASEAN 大使）
ブロンウェン・マドックス（英国王立国際問題研究所〔チャタム・ハウス〕所長）
オン・ケンヨン（第11代 ASEAN 事務総長、S.ラジャラトナム国際関係学院副理事長）
ジェームズ・M・リンゼー（米国外交問題評議会〔CFR〕上級副会長）
エットーレ・グレコ（国際問題研究所（IAI）副理事長、イタリア）
アダム・ポーゼン（ピーターソン国際経済研究所〔PIIE〕所長）
ジェロミン・ツェッテルマイヤー（ブリュッセル研究所所長）
サンジョイ・ジョシ（オブザーバー・リサーチ財団〔インド〕理事長）
ステファン・マイヤー（ドイツ国際・安全保障研究所所長）
トマ・ゴマール（フランス国際関係研究所所長）
ポール・サムソン（国際ガバナンス・イノベーション・センター〔カナダ〕所長）
ロヒントン・メドーラ（国際ガバナンス・イノベーション・センター特別研究員）
リザル・スクマ（インドネシア戦略国際問題研究所シニアフェロー）
カルロス・イヴァン・シモンセン・レアル（ジェトゥリオ・ヴァルガス財団〔ブラジル〕所長）
工藤泰志（言論 NPO 理事長）
山本忠通（言論 NPO 理事、立命館大学国際関係学部客員教授、元国連事務次長、事務総長特別代表）
他ゲストスピーカーなど、合計約 30 名を予定

「東京会議」とは

言論 NPO が 2017 年 3 月に、米国の外交問題評議会（CFR）、英国のチャタムハウスなど、G7 にインド、インドネシア、ブラジルを加えた世界を代表する 10 カ国のシンクタンクと連携して立ち上げた世界会議です。世界のシンクタンクのプレジデントや世界の首脳級のスピーカーが毎年東京に集まり、対話を行い、この日本から「議長声明」を世界に提起しています。

「東京会議」（3 月）は国際会議としての評価も高く、ダボス会議（1 月）、ミュンヘン安全保障会議（2 月）、ライシナ対話（3 月）と連続する国際会議として世界のシンクタンクネットワークで認知され、パリ平和会議（仏/IFRI）、ロンドン会議（主催・チャタムハウス/英）などとも並び、国際的エピステミック（知的）・コミュニティの中に位置づけられています。また、毎年、100 件以上のメディアに報道され日本から世界への発信拠点として、その意義と存在感を高めており、世界のメディアでも注目されています。

加えて、「東京会議」評議会には、岸田文雄前首相が最高顧問となり、評議員に日本経済界・官界を代表する 13 名が就任しています。

【評議会（敬称略・50 音順）】

最高顧問：岸田文雄（元内閣総理大臣）

評議員：

岡本 薫明（元財務事務次官）

川口 順子（武蔵野大学国際総合研究所フェロー、元外務大臣）

久保田 政一（一般社団法人日本経済団体連合会副会長兼事務総長、経団連総合政策研究所所長）

國分 文也（丸紅株式会社名誉顧問）

清水 博（日本生命保険相互会社代表取締役会長）

田中 達郎（アポロ・グローバル・マネジメント日本法人会長）

中島 達（三井住友フィナンシャルグループ取締役 執行役社長 グループ CEO）

原 典之（三井住友海上火災保険取締役会長 会長執行役員）

東原 敏昭（株式会社日立製作所取締役会長 代表執行役）

兵頭 誠之（住友商事株式会社取締役会長）

藤崎 一郎（日米協会会長、元駐米大使）

三毛 兼承（株式会社三菱 UFJ フィナンシャル・グループ取締役執行役会長）

武藤 敏郎（株式会社大和総研名誉理事、元日本銀行副総裁）

【言論 NPO とは】

言論 NPO は、「言論の力でより強い民主主義と課題に挑む日本を実現すること」をミッションに、2001 年に設立しました。世界が分断し困難に直面する中、これまで 2005 年から 20 年間一度も途切れずに「東京ー北京フォーラム」を開催、また 2017 年より、世界を代表する 10 カ国のシンクタンクと協力し「東京会議」という国際会議を立ち上げ、混迷する世界に、この日本から様々な提案を行ってきました。このような私たちの活動は世界でも評価され、米国の外交問題評議会(CFR)が立ち上げた世界 24 カ国のシンクタンク会議に日本から唯一選ばれています。

私たちは今後、「東京ー北京フォーラム」や「東京会議」を通じて、世界の有識者・経済人との対話、官民対話を重ねながら、国内外のシンクタンクとも連携し、民間主導で課題解決のための発信を継続・強化するために、国内初の行動するシンクタンク「DO-TANK」を目指しています。

お申込みは下記 URL からお申し込みください

<https://forms.gle/FgZ2CdGDeyxQGJcs6>

右記 QR コードからも

お申込みいただけます



認定特定非営利活動法人 言論 NPO（担当：宮浦）

〒103-0012 東京都中央区日本橋堀留町 2-8-4 日本橋コアビル 6 階

TEL 03-3527-3972 FAX 03-6810-8729 Email: info@genron-npo.net